

極東開発工業株式会社によるテールゲートリフタの自主改善の実施について

極東開発工業株式会社から、同社が販売した荷役装置（床下格納型テールゲートリフタ）のパワーユニットコントローラに不具合があることが判明したため、以下のとおり自主改善を実施する旨報告がありましたので、お知らせします。

自主改善開始日	平成25年8月上旬
不具合の内容	床下格納型テールゲートリフタにおいて、パワーユニットコントローラの基板に装着してある端子台に誤った表面処理を行ったものがある。そのため、導通性能が不安定になり、使用過程において導通が切れ絶縁状態になった場合、テールゲートリフタの操作ができなくなるおそれがある。
改善の内容	パワーユニットコントローラを良品に交換する。
クレーム件数	16件
事故の有無	なし
使用者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none">・使用者：弊社ホームページに掲載する。・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。・改善実施済車には、パワーユニットに識別用のステッカーを貼付けする。

対象の製品名	型式	自主改善対象製品の製造番号と製作期間	自主改善対象数	備考
床下格納型 テールゲートリフタ	CG1001D-B3MRA2	13T030239N～13T062017N 平成25年4月～平成25年6月	3	
	CG1002F-B3MRA2		1	
	CG1002H-B3MRA2		23	
	CG1002J-B3MRA2		4	
	CG1003C-B3MRA2		6	
	CG1003C-3MRA2		1	
合 計			38台	

備考：当該製品を使用している車両が特定できたものについては、同日付で、サービスキャンペーン通知を行います。

【注意事項】

上表の製造番号の範囲には、対象とならない製品も含まれております。テールゲートリフタの製造番号が該当する場合は、お手数ですが、お問い合わせ窓口までご連絡を頂きますようお願い致します。